

参加費 **無料**
オンライン
配信

デジタル技術は ジェンダー平等を推進するか？

国内外の事例から、多様な価値観を尊重し、多くの人にとって使いやすいジェンダー平等なデジタル技術の活用に向けた課題と私たちができることについて考えます

▷10月14日(金)~31日(月) 基調講演・事例紹介 **オンデマンド配信**

▷10月21日(金) **パネルディスカッション** **ライブ配信**

基調講演

デジタル技術の 格差縮小には ジェンダー平等を



ドロシー・ゴードン

国連教育科学文化機関(ユネスコ)
みんなのための情報計画委員長

国連、政府機関、民間で活躍するガーナ出身の専門家。ジェンダーと技術、先住民の言語によるデジタルと情報リテラシー、技術と教育、人工知能等の情報技術と教育の分野で活躍し、デジタル分野に存在する格差、第4次産業革命といわれるAIの導入や自動化によって変化する労働市場、女性と少女の再訓練や技能向上に応える多国間イニシアチブに取り組む

事例紹介

ジェンダーの視点で技術やイノベーションをとらえた技術開発事例、技術やイノベーション分野でジェンダー平等を推進しているユネスコの動画や国内外の取組を紹介します



サラーム・アル・ヌクタ

チェンジャーメーカーズ創設者兼CEO

シリアル社会起業家として、プログラミング・コースの提供による若年女性のエンパワーメントを推進し、技術分野のジェンダー格差縮小に取り組む。平等を目指す全ての世代のためのフォーラム・タスクフォースのメンバー



カルパナ・ヴィスワナート

セイフティピン創設者

国連女性機関(UN Women)、国連人間居住計画(UN Habitat)、インド国内のNPOなど様々な機関で20年以上にわたってジェンダーと都市問題に取り組む。インド国内に加え、アジア、アフリカ、中南米の多数の都市で活用されている安全情報アプリを開発



宇井 吉美

株式会社aba代表取締役

祖母の介護経験を元に、介護の負担を減らしたいとの思いからロボット開発の道を志し「排泄センサーHelppad(ヘルプパッド)」を製品化。家庭では2児の母

オンライン
ウェビナー

パネルディスカッション

▶10月21日(金)14時~16時

ジェンダー平等な デジタル技術の活用に向けて

基調講演と国内外の事例を踏まえ、デジタル技術に潜むジェンダー課題と社会課題をテクノロジーで解決するために市民がいかに関わることができるか、市民の主体的な取組について議論します

パネリスト



小林 傳司

(国研)科学技術振興機構
社会技術研究開発センター長
大阪大学名誉教授

社会における科学技術のあり方について、専門家と市民が同じテーブルで理解を深め提言する「コンセンサス会議」を日本に紹介、実施。01年、科学技術社会論学会の設立にかかわる(初代会長)。著書に「公共のための科学技術」(編著)玉川大学出版会、「誰が科学技術について考えるのか」名古屋大学出版会、「トランスサイエンスの時代」JNTT出版など



田中沙弥果

(特非)Waffle共同創業者

2019年にIT分野のジェンダーギャップを埋めるためにWaffleを設立し、女子中高生向けのIT教育や政策提言を実施。2020年Forbes JAPAN誌「世界を変える30歳未満30人」受賞



福島健一郎

(一社)コード・フォー・カナザワ
代表理事

社会課題をテクノロジーで解決するため、2013年に日本初のシビックテックの活動を開始。子育てに役立つ情報アプリ“のとノットアローン”他、様々なアプリ開発に携わる

コーディネーター

萩原なつ子

国立女性教育会館
理事長



▶見逃し配信:10月26日(水)9時~31日(月)17時

参加方法

9月26日(月)以降、国立女性教育会館のウェブサイトより登録してください。

※プログラムは主催者の都合により、変更・中止する場合があります。最新情報はNWECウェブサイトでお知らせします。



主催・お問合せ



独立行政法人 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL 0493-62-6437

MAIL rese2@nwec.jp

URL <https://www.nwec.jp>

NWEC

検索

後援

文部科学省

国立研究開発法人科学技術振興機構

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。